



静岡県勤労者協議会連合会
HP <http://kinrokyo.net/shizuoka/>
e-mail 2023@kinrokyo.net

被爆 79 周年原水禁世界大会、2024 年 「被爆 79 周年原水爆禁止世界大会・広島大会」が開催



8月4日、「被爆79周年原水爆禁止世界大会・広島大会」開会総会が広島市・グリーンアリーナで行われ、約2200人が参加しました。開会総会の前段には、平和記念公園から開会総会会場に向けた「折鶴平和行進」が行われました。全国各地からの参加者は炎天下の広島市街を行進し、大会会場のグリーンアリーナへと入

場しました。

同大会では、金子哲夫・共同実行委員長が主催者を代表して以下の内容を訴えました。ウクライナやパレスチナなどの危機的状況に触れ、単に核兵器に反対するだけではなく、核兵器使用につながるすべての戦争に反対するのが「ヒロシマの心」だとし、アメリカと「拡大抑止」強化で合意した岸田首相は被爆者の想いを踏みにじっていると指摘。また、「核と人類は共存できない」というスローガンに込められた意味を、原水禁運動におけるさまざまなとりくみや経験を紹介しながら解説し、被爆80年に向け原水禁運動の強化を呼びかけました。なお、来賓の紹介とメッセージが披露されました。



続いて、日本被団協代表理事の田中聡司さんから被爆証言を受けました。原爆投下2日後、1歳5か月であった田中さんは、お母さんとともに「入市被爆」するとともに、多くの家族・親族を原爆で失いました。青少年時代には心無い言葉を受けたり、社会人になってから食道がんをはじめとした闘病も経験しました。新聞記者を務めるなかで被団協に出会い、被爆者として活動してきた経

験



緯について語りました。核保有国に未来を託すことはできない、核への怒りをとり戻し、ともに声を上げようと訴えました。

続いて、広島・長崎選出の高校生平和大使と高校生 1 万人署名活動実行委員会のみなさんが登壇しました。それぞれ核廃絶にとりくむ原動力となる自らの想いを語り、核なき世界をつくるために国内外でがんばっていく決意を述べました。(省略以下)

最後に、秋葉忠利・代表委員が閉会あいさつを行い、今後の具体的運動目標を立てつつ、核廃絶を実現していく基本的構想を構築するためにもとりくむことを参加者一人ひとりに呼びかけ、集会を終了しました。

今後、広島大会としては 5 日に分科会・ひろば・フィールドワーク、6 日に国際シンポジウムとまとめ集会が行われてきました。なお、「被爆 79 周年原水禁世界大会・2024 年広島大会・長崎大会」の詳細な内容は、『2024 年原水禁世界大会』を検索すればホームページに掲載されています。是非とも一読をお願いします。

マスコミからも指摘された 原水禁広島大会の危険な動き

先月の「県勤労協ニュース」でも取り上げましたが、8 月 6 日前後にかけてマスコミは「広島市当局は平和運動を広島から排除か・・・」、「岸田政権の核廃絶に向けた姿勢は、アメリカ追従なのでは・・・」、「戦争当事者のイスラエルを『なぜ、招待しなければならないのか』』といった抗議が多く寄せられた。-との報道もありました。編集者としては、事実経過として上記 3 課題の記事を紹介させて頂き、読者からの感想や意見を待っています。

岸田首相と面会した被爆者がまっすぐ伝えた「恥ずかしい思い」「核なき世界」と裏腹に進む「日米核同盟」

2024 年 8 月 7 日東京新聞

戦後 79 年の原爆の日を迎えた 6 日、岸田文雄首相は広島市の平和記念式典で「核兵器のない世界」の実現に向けて取り組む姿勢を重ねて強調したが、その決意とは裏腹に米国の「核の傘」への依存を深める矛盾が浮き彫りとなった。多くの被爆者が参加を切望する核兵器禁止条約にも背を向け続け、被爆国として国際社会を核廃絶へ導くという理想には程遠い状況だ。

◆「私自身が先頭に立つ」と強調

「核兵器のない世界への道のりがいかに厳しくても、その歩みを止めるわけにはいかない」。首相は式典のあいさつで力を込めた。兵器用核分裂性物質生産禁止条約 (FMCT) の実現に向けて立ち上げた友好国会合に触れ、「私自身が先頭に立って関与していく」と述べた。

任期最後の広島原爆忌を迎えた首相は核問題をライフワークとし、昨年先進 7 カ国首脳会議 (G7 広島サミット) で核軍縮に関する初の共同文書「広島ビジョン」をまとめた。だが、この文書が肯定したように、核兵器による報復を恐れさせることで相手の攻撃をとどまらせる理論「核抑止」を強化する方向に動いている。

◆「核抑止論」転換の声にゼロ回答

ウクライナへの核使用をちらつかせるロシアや、核戦力を増強する中国や北朝鮮を念頭に、先月末には拡大抑止に関する初の日米閣僚会合を開催。松井一実市長はこの日の平和宣言で核抑止政策から

核を巡る状況と
岸田首相の広島平和記念式典あいさつ

| | |
|----------|--|
| 2016年 5月 | オバマ米大統領が現職として初の広島訪問 |
| 21年1月 | 核兵器禁止条約が発効。日本は参加せず |
| 22年1月 | 核保有五大国が核戦争回避を責務とする共同声明 |
| 6月 | 核兵器禁止条約の第1回締約国会議 |
| 8月 | NPT再検討会議が最終文書を採択できず決裂。岸田首相が出席 |
| 23年5月 | G7広島サミットで、核軍縮に関する初の共同文書「広島ビジョン」を発表 |
| 8月 | 「核兵器のない世界の実現に向け、国際的な機運をいま一度呼び戻すことが重要だ」 |
| 24年7月 | 核戦力を含む拡大抑止に関する初の日米閣僚会合 |
| 8月 | 「現実的かつ実践的な取り組みを進め、国際社会を主導していく」 |



の転換を呼びかけたが、首相は式典後の会見で「日米で信頼関係を高めていく重要な取り組みだ」と取り合わなかった。

冷淡なのは、核兵器を全面的に違法とする核兵器禁止条約に対しても同じだ。

「政府が条約に背を向ける状況で、私たち被爆者は海外へ出て活動することに悔しい、恥ずかしい思いをしている」。市内で開かれた被爆者団体と首相との面会で、広島被爆者団体連絡会議の田中聡事務局長（80）はこう吐露し、条約への参加を求めた。

◆核兵器国と交渉でも成果は見えず

首相は「核兵器国を動かさないと現実には動かない」と従来の考えを繰り返し、オブザーバー参加にも言及しなかった。

被爆地選出の首相の下で、核兵器のない世界に近づいたのか。田中氏は面会后、「核抑止は私たちの思いとは程遠く、危険な道に進んでいる」と危機感を口にした。広島県原爆被害者団体協議会の佐久間邦彦理事長（79）も首相の回答に失望をあらわにし、「被爆者が被爆の実相を訴えているのに、この声をなぜ聞かないのか」と批判した。

核兵器国に核軍縮交渉を義務付ける核不拡散条約（NPT）も停滞する中、首相は目立った成果を示せていない。（近藤統義）

◇ ◇

◆規制に踏み込まず、掛け声倒れ

<広島市立大広島平和研究所の梅原季哉（としゃ）教授（国際関係論）の話>

米ロ間の核軍縮条約が機能不全となり、イスラエルの閣僚がパレスチナ自治区ガザへの核使用を示唆するなど、核を巡る国際情勢は楽観できない。その中で岸田首相が核問題に熱心なのは分かるが、「核使用は例外なく認められない」とは踏み込まず、掛け声倒れと言わざるを得ない。拡大抑止を強化するなら核兵器に依存しない形を目指すべきであり、日米同盟を核同盟化していく動きに被爆者が心を痛めるのは当然だ。

日本政府は核廃絶をうたっても、核兵器禁止条約など核の使用を具体的に規制することには腰が引けている。唯一の戦争被爆国として存在感を発揮するには、米国に先行不使用を促し、そこを糸口に中国との対話の場を提案するなど方策はある。米中間で核使用のリスクを低減することは、日本の安全保障にとってもプラスになるはずだ。

原爆の日、広島市は平和祈る人々を記念公園から締め出し、イスラエルを式典に招待した…「被爆者の思いは」

2024年8月9日東京新聞

今年初めて入場規制が平和記念公園全域に広げられた、6日の広島市の平和記念式典。一部の市民団体は退去命令に応じず、園内にとどまり続けた。公園外での表現を余儀なくされた人たちもいた。戦争に傾く世界に対し「平和を訴える自由を侵している」と危ぶむ声が上がっている。（山田雄之）

◆市の退去命令に法的根拠は？「公園の管理に支障」

6日午前5時から始まった入場規制。前夜から公園内の原爆ドーム前で座り込んだ市民団体の約650人は、園外移動を求める市職員らに「法的根拠はあるのか」と抗議の声を上げた。

市は再三の退去要請や退去命令をした後、団体側に過料5万円の支払いを命じたが、参加者らは午前8時15分の黙とうまで、園内に居続けた。団体の宮原亮事務局長（48）は「規制は一方的。これまでもドーム前で反戦反核を訴えてきた」と批判。市に過料への異議を申し立てる方針という。

市が退去や過料を命じた根拠は何か。「こちら特報部」の取材に、公園を管理する市緑政課の担当者は「警備のための移動要請に従わないのは、市公園条例が禁じる『公園の管理に支障があると認められる行為』に当たる」と説明した。

安全対策として、入場規制の強化を市が発表したのは今年5月。昨年の式典で市職員にぶつかるなどした疑いで活動家の5人が逮捕、起訴された「衝突事案」が理由とされた。昨年まで自由に出

入りできたドーム周辺を含む公園全域が、手荷物検査のある規制エリアに。拡声器や横断幕の持ち込み、はちまきやゼッケン着用が禁じられた。

◆40年以上続く「ダイ・イン」も原爆ドーム前を奪われ

6日朝、公園に向いた広島大の田村和之名誉教授（行政法）は「平和を祈りたい多くの人が閉め



出され、表現の自由が侵害された」と強調する。ドーム周辺を式典会場として利用する様子は確認できず、「使用実態のないエリアまで規制し、市民の自由な公園利用を阻止した」と断じる。

原爆投下時刻に

合わせ、ドーム前で死者になりきり横たわる「ダイ・イン」は40年以上続いていたが、今年は公園外に場所を移した。実行委員会の久野成章事務局長（64）も「苦渋の決断。ドーム前は市民が平和を自由に訴える場だった。それが奪われたのは重大な汚点だ」と非難する。

（写真上：原爆ドーム前で行われてきた例年と異なり平和記念公園の外で行われたダイ・イン＝6日、広島市で・久野成章さん提供）

広島県原爆被害者団体協議会の佐久間邦彦理事長（79）は「平和とは自由が保障されていることだ。恒久平和の象徴である平和記念公園の意義を正しく理解できているのだろうか」と市の規制に首をひねる。

◆「式典の政治利用は許されない」

パレスチナ自治区ガザを攻撃するイスラエルを招待し、批判も上がった広島の式典。9日の長崎の式典はイスラエルを招待せず、米英などの大使も欠席する。

佐久間さんは「招待を決めるのは被爆地。長崎の『呼ばない』とする判断は評価されるべきだ」とした上で、被爆地の反戦反核の願いも翻弄（ほんろう）される現状を憂う。「式典が政治の場として利用されることは許されない。『もう二度と原爆が使われないように』との被爆者の思いが踏みにじられている」

広島市は「二重基準で偽善者」

イスラエル式典招待でパレスチナ

2024年8月6日 21時39分（共同通信）

イスラエルが平和記念式典に招待されたことに抗議する市民集会。後方は原爆ドーム＝6日夜、広島市の平和記念公園

パレスチナ自治区ガザへの攻撃を続けるイスラエルが広島市の平和記念式典に招待されたことに抗議する市民集会が6日夜、原爆ドーム近くで開かれた。式典に招待されなかった駐日パレスチナ常駐総代表部のワリード・シラム代表は集会にオンライン参加し「広島市の対応は二重基準だ。偽善者と言わざるを得ない」と非難した。



シラム氏は「ガザでの虐殺を行うイスラエルを平和の式典に招待すべきではない」と指摘。一方、イスラエルを招待しなかった長崎市の対応は「平和と正義に根付いた決断だ」と述べ、市長と長崎県知事を称賛した。

広島市は招待基準を満たさないとして、パレスチナ側を6日の式典に招待しなかった。

「被爆 79 周年原水爆禁止世界大会・長崎大会」も開催

2024年08月08日

8月7日、長崎市・ブリックホールにおいて「被爆 79 周年原水爆禁止世界大会・長崎大会」開会行事が行われ、約 1000 人が参加しました。

冒頭、司会の三藤理絵さん（長崎大会実行委員）の呼びかけで原爆犠牲者への黙とうを行いました。

主催者を代表し川野浩一・共同実行委員長があいさつ。5歳で被爆していま84歳。自身の体験を振り返りつつ、被爆の記憶も意図的に消されようとして

いるとしか思えない日本の状況があり、戦争への反省やそれに基づく憲法もないがしろにされているとしました。核



兵器禁止条約（TPNW）の締約国会議には日本政府はオブザーバ参加すらしていません。そのうえで「橋渡し役」などと自称する岸田首相を批判しました。日本こそが核廃絶の最先頭に立つべきであり、そのために政治を変えよう、ともにがんばろうと訴えました。



核兵器のない世界を目指して

長崎で高校生 100 人が「人間の鎖」

毎日新聞 2024/8/9

核兵器廃絶を訴える署名を国連に届けて 核兵器廃絶を訴えて活動をする「高校生平和大使」と「高校生 1 万人署名活動」のメンバーが 9 日早朝、長崎市の爆心地公園で集会を開いた。全国の高校生約 100 人が原爆落下中心地碑を囲んで手をつないで「人間の鎖」を作り、核兵器のない平和な世界の実現に向けて結束を誓った。

高校生は碑に献花をして黙とう。碑に向かって人間の鎖を作って原爆犠牲者を悼んだ後、外側を向いて未来を切り開く姿をアピールした。第 27 代高校生平和大使で長崎県立長崎西高 2 年の大原悠佳さん（17）は「長崎で生まれ育った高校生だからこそ、被爆者の思いが残っていくよう声を上げ続

けたい」と話し、新潟県立長岡高2年の西脇あかりさん（16）は「平和の思いを同じくする仲間が全国にいると実感した。核兵器の危険性を世界中に訴えたい」と思いを強くしていた。

平和大使は1998年、核拡散防止条約（NPT）非加盟のインドとパキスタンが相次いで核実験を実施したことに危機感を募らせ、長崎市の市民団体が高校生を国連に派遣したのが始まり。これまでに全国の高校生が核兵器廃絶を訴える計272万3142筆の署名を集めた。【尾形有菜、日向米華】

（写真「人間の鎖」で原爆落下中心地碑を囲む高校生たち（9日午前7時7分、長崎市の爆心地公園で）＝坂口祐治撮影）



県内でも4地域6会場で 非核・反戦のミニ集会で「平和の重要性」を訴えた

県勤労協連合会は、毎年恒例となっている「非核・反戦・平和のミニ集会」が8/1の清水勤労協をスタートに、勤労協と連携している8/9～21には「非核平和都市ふじえだ・市民の会」が市内3会場で開催してきました。袋井勤労協は8/11～20に「第16回平和写真展」、掛川勤労協は8/14～17日に「非核平和展」をそれぞれ開催してきましたので、紙上から報告させていただきます。

各地域でのミニ集会に携わった各関係者の皆様は連日の酷暑の中で、ご奮闘されました事に編集者も心からの敬意と御礼を申し上げます。「原水禁世界大会の記事」でも紹介しましたが、「平和のバトンは高校生平和大使が引き継ぐ」と決意してくれています。私たち大人も頑張りましょう。

（文責：秋山一 静岡県勤協連）

各地区活動報告

☆清水地域勤労協

第30回清水地域勤労協定期総会を開催



清水勤労協は7月28日（日）14時より、おしば会館（清水区小芝町3-6）で第30回定期総会を開催しました。

冒頭の開会挨拶としてこれまで会長を務めた鈴木禎昭氏が体調不良のため、本定期総会で会長を



退き、後任に副会長の橋本勝六氏が会長に就くことが決定されました。

総会議長には副会長の小豆沢清久氏が選出されて総会が始まりました。

議事では2023年度活動報告、会計・監査報告、2024年度の活動方針、予算、役員選出が定義され、承認を得ました。

総会后、来賓の松井優介県会議員と小山悟市会議員より、活動報告と県政、市政の報告を行い、会場からの質疑応答もあり

充実した報告会となりました。

松井県議会議員と小山さとる市議の報告会

清水勤労協定期総会終了後、松井ゆうすけ県議会議員、小山さとる静岡市議会議員の「報告会」が開催されました。

松井ゆうすけ県議会議員は本年2月定例会において下記3点の質問を行いました。1. 清水区の救急医療体制について。2. 医療的ケア児を持つ家族等の支援について。3. クルーズ客による清水港周辺の「にぎわい創出」について。

上記の質問に対する県当局の回答は、「清水区民並びに県民が十二分に納得できるものではないので、今後とも静岡市との連携を深めながら清水区を魅力ある街作りを進めて頂きたい」と、強く要望をしてくれました。※勤労協事務所に「松井ゆうすけ県議会だより」がありますので希望者はご利用して下さい。



その後、小山さとる静岡市議会議員は、6月議会に質問を行いました。その内容は「教育行政について」と「環境問題解決に向けた取り組み」です。具体的には、1. 子供の学びの充実と教員の働き方改革について、2. 不登校児童生徒に対する取り組みについて、3. 清水三保地区におけるPFASへの対応についてです。

教育行政については、「一定の前進面」が見られます。しかし、不登校児童生徒は年々増加しているため今後の対応が重要となっています。「三保地区におけるPFASへの対応」についての問い合わせは、清水勤労協並びに小山さとる市議に連絡して下さい。また、『小山さとる議員だより』にQRコードを掲載してありますのでご利用をお願いします。

「非核．平和の塔」清掃活動を実施

8月3日(土)、清水地域勤労協と清水憲法9条を守る会は、日本平運動公園内に設置されている金属彫刻「清水平和の塔・共生」の清掃活動を行いました。毎年恒例の奉仕活動で10人が集まり、「塔の清掃・磨き」と「周辺雑草を刈り取り・手入れ」を実施しました。

清水平和の塔は、1987年に「非核平和都市」を目指すために市民団体が署名活動を取り組み旧清水市議会は「非核平和都市宣言」を議決しました。市民団体はこの宣言を基に「平和の塔建設」を目指すカンパ活動を展開し、平和の塔建設原資として旧清水市に寄贈され、1993年2月に建立されました。この塔のデザインの丸い部分は地球を、両サイドは「人」という文字をあらわし、平和と人は互いに共存することを表現し、球形の鏡に写るものは未来を意味しています。



市民の中には「平和の塔・共生」の存在を知らない人が多く、平和への思いを広めていくためにも今後も清掃活動を続けていきます。

平和パネル展を開催

8月1日(木)～8月14日(木)清水区辻生涯学習交流館1階ホールに於いて、平和パネル展「原爆と峠三吉の詩」を開催しました。

峠三吉(とうげさんきち、1917年(大正6年)2月19日 - 1953年(昭和28年)3月10日)は昭和20年(1945年)8月6日28歳の時、爆



心地から3km離れた翠町の自宅で被爆しました。

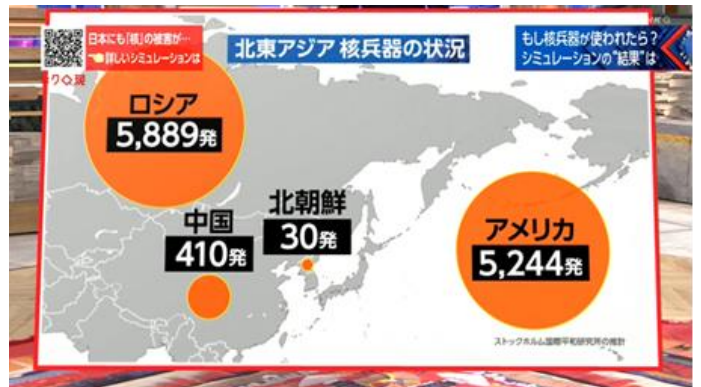
戦後、青年運動・文化運動を通じ次第に平和運動の先頭に立つようになり、原爆反対、平和擁護の作品を数多く発表しました。

朝鮮戦争が始まり、占領軍による原爆反対運動への弾圧が激しさを増す中、トルーマン大統領の「朝鮮戦争に原爆使用もありうる」という声明に抗議し、結核で療養中の国立広島療養所で『原爆詩集』を書きあげました。

原子爆弾 6000 発分のプルトニウム持つ日本

NPT(核不拡散条約)は核兵器を開発すること、つくること、持つことを規制して、核兵器保有国を増やさないことを目的とした国際条約です。日本も1976年に批准、今では世界の190か国が参加しています。

今、私たちの日本を含む北東アジアでは急速に核兵器が増えています。核大国のロシアは5,889発。中国は410発。この1年で60発増やしたと見られています。北朝鮮はすでに30発持っているという見方もあります。さらに日本と韓国は、5,200発余りを保有するアメリカの核の傘に入っています。



NPT(核不拡散条約)のもと、核兵器の材料の製造や移動(輸出入)、量が監視されています。核兵器の材料とは、プルトニウムのこと。日本はそのプルトニウムを約47トン、持っています(日本原子力研究開発機構による2023年12月末現在)。その保管量はなんと原子爆弾6000発分です。日本が核を持たない為にも「原発の再稼働・即時の停止」は重要な課題となっているのです。

☆掛川市勤労協

艦砲射撃の惨状知って 掛川中央図書館で非核平和展

掛川市勤労者協議会による「非核平和展」が、終戦記念日を翌日に控えた14日、市立中央図書館で始まった。浜松市が米軍から受けた艦砲射撃の惨状を伝える資料などが並ぶ。17日午後3時まで、入場無料。(2024年8月15日 中日新聞)

浜松復興記念館や静岡平和資料センターなど



の協力を得た。浜松砲射撃関連では、全長163センチ、重量855キロあったとされる艦砲弾の破片の実物を展示。破片は幅30センチ程度の板状だが、成人男性でも持ち上げられないほどの重量で、担当者は「ぜひ手に取ってその破壊力を実感してほしい」と話す。

度重なる空襲で焼け野原になった浜松市の市街地やB29爆撃機を捉えた写真パネルのほか、島田市・浜松市・焼津市に7月26日に投下された「原爆の模擬爆弾のパンプキン」の写真に多くの市民が注目されていました。

7/25～8/7 夏休み親子映画会を掛川市内15会場で開催

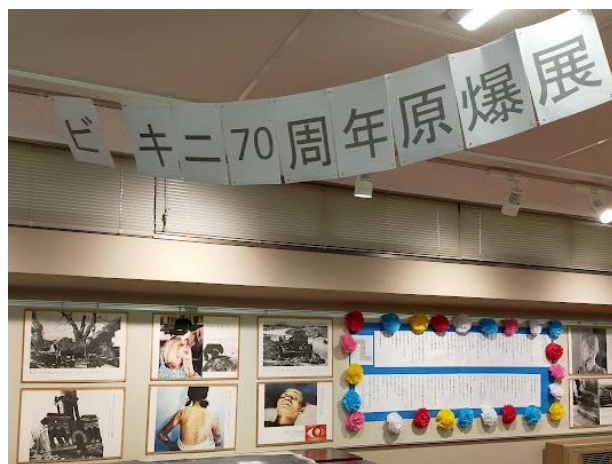
なお、掛川勤労協は7/25～8/7の10日間で、「夏休み親子映画会」を市内15会場で実施してきました。上記の映画会は各小学校単位の上映をしてきた為、参加された各児童も「夏休みの良い思い出」となった。一との感想が寄せられていました。

☆袋井市勤労協

非核平和展～非核平和都市宣言に伴うアクション14～

8月11日（日）～20日（火）。袋井市役所2階ギャラリーに於いて、『袋井勤労協第18回平和写真展』を開催しました。今年は「ビキニ被爆70年・原爆と戦争展」というテーマを掲げました。

会場には写真パネル「第五福竜丸の被災とその後」「原爆と対戦の真実」、沖縄慰霊の日に寄せた平和の詩「これから」（沖縄県立都高校・仲間友佑さん）、「2024年世界平和度指数ランキング」などが展示され、また、ドキュメンタリー映画の放映が行われました。

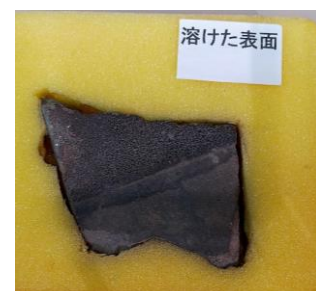


1954年3月1日午前、米国によるマーシャル諸島ビキニ環礁での水爆実験で、放射能を帯びたサンゴ片の「死の灰」が降り注ぎ、遠洋マグロ漁船「第五福竜丸」（静岡・焼津市）の乗組員23人が被ばく、約半年後、無線長の久保山愛吉さん（40）が亡くなり、人類初の水爆犠牲者となりました。

第五福竜丸は米国の設定した危険水域外で操業していましたが、米国が水爆の威力の見積もりを誤ったため、死の灰が予想以上に広がったとされています。

会場には広島・長崎の当時の写真も展示されていました。現物資料として、広島平和記念資料館から借りた、熱で溶けた瓦（写真右）は原爆のすさまじさを伝えていました。

また、焼津歴史民俗資料館からの借りた写真も展示されており、当時の状況を伝えていました。



世界平和度指数2024年は平和度悪化

袋井の平和展では今年も「世界平和度指数」が展示されていました。世界平和度指数は世界人口の99.7%・163の国と地域を対象に、23の定性的・定量的指標を用い「社会の安全・安心」「継続中の国内・国際紛争」「軍事化」の3つの領域に関し、平和の状態を分析、各国の平和度を1～5の5

段階で評価したもの。スコアが低いほど平和な国と評価されます。

『2024年の結果では、世界の平和度の平均レベルは0.56%悪化した。過去16年間で12回目の悪化であり、改善したのは65カ国、悪化したのは97カ国。これは、同指数が始まって以来、1年間に平和度が悪化した国の数としては最多となる。』

https://yamatogokoro.jp/inbound_data/54037/

2024年の日本の平和度は世界17位とあり、前年の9位からランクダウン。また、2024年の日本の平和度指数スコアは1.525と、前年の1.336から0.189下降し、平和度悪化とみてとれます。

そして、世界で最も平和な国は北欧アイスランド、ここは非武装の国で自国軍を保有していません。また、最下位はこの1年で近隣諸国との関係悪化があったイエメンでした。

(通信員 佐野明子・静岡県勤協連)



非核平和都市ふじえだ・市民の会「非核・平和写真展」

戦争も核兵器もない平和な世界をめざして

非核平和都市ふじえだ・市民の会は、8月9～10日に「葉梨地区交流センター」、8月13～14日は「西益津地区交流センター」、8月20～21日は「稲葉地区交流センター」の3会場で『非核・平和写真展』を開催してきました。

今回の「非核・平和写真展」では、高校生平和大使が参加して「2024 原水禁長崎大会での高校生平和大使としての活動報告」や、「県内での取り組みに向けた決意」が表明されました。※原水禁長崎大会の記事参照



日本の「高校生平和大使」が国連訪問 開催中の軍縮会議を傍聴、署名提出へ

2024/8/20 共同通信

8月20日、スイス・ジュネーブで、軍縮会議を傍聴しメモを取る「高校生平和大使」ら（共同）



核兵器廃絶を訴える日本の「高校生平和大使」らが20日、スイス西部ジュネーブにある国連欧州本部を訪れ、開催中の軍縮会議を傍聴した。今年の平和大使は17都道府県から23人が選ばれた。約1年間で全国から9万6428筆の反核署名を集めており、国連軍縮部に提出する。

一行は19日にジュネーブに着き、軍縮会議日本政府代表部の市川とみ子大使らと面談。福岡県立筑紫丘高校の杉森世都さん（17）は「軍縮会議などさまざまな場で（平和への）私たちの思いを届けたい」とあいさつした。市川氏は軍縮会議の仕組みや軍縮教育の大切さについて話した。

高校生平和大使の活動は、インドとパキスタンが相次いで1998年に核実験を実施したのをきっかけに始まった。今回で27代目。これまでに集めた反核署名は270万筆以上となった。

(通信員 秋山 一)

(香川県)三豊勤労協ニュースより

前日本勤労協幹事で香川県三豊市勤労協会長の篠原清氏のコラムがありましたので紹介します

コラム

この夏の異常な暑さには命の危険すら感じます。いつの日か最近では地球温暖化でなく「地球沸騰化」と言われていますがその通りと納得します。人類の勝手気まま傍若無人なまでの地球規模での乱開発がこの事態の大きな要因となっています。クーラー無しには生きていけません。電力の重要度合いがますます増している状況に悪乗りした原子力発電所新設・老朽原発の危険極まりない稼働延長には厳しいチェックが必要です。再生可能エネルギーを中心としたエネルギー政策の強化が必要となっています。

2024年8月4日

篠原 清 記

政治漫画

「日傘」 佐藤正明

東京新聞 2024年8月7日



つもる話は アフター ファイブに。

仕事帰りにサクッと
夕方チャットで
お気軽に相談

《ろうきん》全店OPEN!
水曜よりみち相談会
17:00~19:00
毎週水曜日 夕方 **予約優先**^{※1}

県内(ろうきん)の全営業店で開催中!

**ローンのこと、お金のこと。
ご相談内容が充実。**

住宅ローンなど、各種ローンのご相談はもちろん、
預金や個人向け国債、投資信託、個人年金保険の
ご相談もお取扱いします。^{※2}
お金のことなら何でも幅広くご相談ください。

はずむ話は デイ タイムに。

日曜にじっくり。
家族一輪がナイス。

《ろうきん》全店OPEN!
日曜のんびり相談会
9:00~12:00 13:00~16:00
毎週日曜日 **予約制**

県内(ろうきん)のローンセンターで開催中!

週末はご家族で。 **予約制**
3ローンセンターでは土曜日も相談OK。
お客さまの声にお応えして土曜日も相談会を開催。

土曜日開催店

- ◎浜松中央ローンセンター
- ◎静岡中央ローンセンター
- ◎富士ローンセンター

働く人に便利な
2つの「相談会」。

※1 ご予約のない場合、混雑状況により当日のご相談をお受けできないこともありますので予めご了承ください。 ※いずれの相談会も、一部開催しない日がございます。
 ※2 個人向け国債、投資信託、個人年金保険のご相談は予約制となります。

《ろうきん》が初めての方も大歓迎。ぜひお近くの《ろうきん》へ。

お近くの
(ろうきん)は
こちらから!

スマホで
アクセス!

いつもあなたの目線で。
静岡ろうきん

お問合せ・ご予約は

ビボパdeろうきん 携帯電話からでもOK!
フリーダイヤル 平日 9:00~18:00
0120-609-123

インターネットホームページ
<https://shizuoka.rokin.or.jp>

こくみん共済 NEWS
18228013

大切な住宅と家財を、火災・自然災害から守る住まいの保障

住まいる共済

火災共済・自然災害共済

風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

point

自然災害の保障が充実

古い住宅や家財でも「再取得価額」で保障

住宅の焼破損割合が70%で全焼扱い

365日・24時間事故受付

基本の保障

火災共済

火災などのとき
落雷の被害も保障の対象です。

台風・降雪などのとき

地震・台風などを幅広くカバー!

自然災害共済

地震などのとき

台風・降雪などのとき
火災共済よりも保障額が
さらに手厚くなります。

※自然災害共済単独でのご加入はできません。

+ おすすめ!!

自然災害共済

には2つのタイプがあります。

手厚い保障の **大型タイプ** 手頃な掛金の **標準タイプ**

どちらか1つお選びいただけます。

+ 特約でさらに安心をプラス

① 類焼損害保障特約 ② 個人賠償責任共済
③ 盗難保障特約 ④ 借家人賠償責任特約

ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。ご契約の際は「リーフレット」「ご契約のてびき(契約概要・注意喚起情報)」を必ずご確認ください。

たすけあいの輪をむすぶ

静岡推進本部
(静岡県労働者共済生活協同組合)

こくみん共済

全国労働者共済生活協同組合連合会

お問い合わせは
所属団体まで